

## 令和3年度第2回広島市男女共同参画審議会における意見交換「生理用品の提供のあり方について」に係る委員意見への対応

委員名	意見等	対 応
1 寺本 副会長	「生理の貧困」は、生理だけに困っているのではなく生活困窮問題であり、そこを支援しなければ解決につながらない。そういう視点から考えると、「ピアサポート」は、今、目の前にある問題と、その解決手段としてはつながっていないのではないのか。	「ピアサポート」では、講師が相互の信頼関係づくりから始め、孤立した相談者の心を開き精神的な安堵へと展開していきました。また、対話の終了後には、講師が相談者に応じた助言や支援先の紹介などを行いました。
	「SOS電話」では、相談者からの相談を聞くだけで終わっているのか、それとも福祉窓口等につなげているのか。生理用品を「ゆいぽーと」まで取りに行くのでは費用的に問題があるのではないのか。	相談者個々の相談内容に応じ、区地域支えあい課や生活課等を紹介しています。 なお、生理用品については、相談者の希望に応じて、郵送等により提供しております。
	相談支援事業を行っている色々なNPO法人間のつながりができた。その関係を今後も生かし充実させるため、ハブとなる団体と他の団体が、お互い協力関係を築けるよう対応してほしい。	昨年度に引き続き、ゆいぽーとにおいて、相談支援機関の相談員の資質向上や人材育成研修会を行うとともに、ゆいぽーとを中心に各支援機関の協力体制を築くことができるよう対応したいと考えています。
	生理用品の郵送は、数が多くなると送料が高くなるので、よい方法を考えてほしい。	相談者の住所地に近い各区地域支えあい課で提供が行えるよう協力を得ており、なるべく郵送でない方法で提供したいと考えています。
5 貴田委員	生理用品と相談先が記入してあるカードなどをセットで学校のトイレに置けば、わざわざ相談機関へ出向く必要がないので、検討してほしい。	教育委員会へ情報提供し、対応してまいります。
	生理休暇についても、生理用品を提供するだけでなく、一緒に啓発してもらいたい。	経営者層を対象とした就労環境整備に関する研修会において、啓発が可能か検討してまいります。
7 岩見委員	学校のトイレでの生理用品の提供と合わせて、相談につながるということであれば、二次元コード等を利用し、お手洗い等を利用された方に、実際どういった意識で生理用品を捉えているか、アンケートに答えてもらう方法もあるのではないのか。	ご提案の方法は検討すべき内容であると考えますが、まずは、生理用品を学校等のトイレに常備することが生理の貧困問題の解決に有効な手段となり得るかについて、関係部署と検討する必要があると考えています。
8 大庭委員	生理用品などいろいろな困りごとについてアンケートを実施する予定はないか。	前回の会議でお答えしたように、この事業のSOS電話において、具体的な困りごとを可能な限りお伺いしています。
9 山手委員	生理の症状には個人差があるので、一律に生理用品を提供するのではなく柔軟な対応が必要であると思う。そのような対応はできたか。	基本的には、夜・昼用それぞれ1パックを想定していたが、相談の中で、複数の提供を希望される方には、希望に応じた対応をすることとしていました。
10 佐田尾委員	生理用品は、防災備蓄や予備費で対応するとあるが、国家規模での対応等の構えで行政も当たってもらいたい、設計してほしい。 また、Amazon等のサイトを利用し、購入時にポイントで還元する等の措置ができないか。	厚生労働省におけるアンケート調査等、国の動向に注視して参ります。 また、Amazon等の通販サイトの活用については、生理用品を学校等のトイレに常備することと同様に、生理の貧困問題の解決に有効な手段となり得るかについて、検討する必要があると考えています。
11 中井委員	QRコードを掲げ、アンケートをとる際には、体の調子や食事状況などを聞き、最終的に家庭での困りごとを尋ねる方法が良いと思う。大学生を対象として始め、それがうまくいった際には例えば区役所のトイレの個室で実施するなど検討してはどうか。 また、Amazonの欲しいものリストを市が活用してはどうか。	ご提案の方法は検討すべき内容であると考えますが、まずは、生理用品を学校等のトイレに常備することが生理の貧困問題の解決に有効な手段となり得るかについて、関係部署と検討する必要があると考えています。 また、Amazonの欲しいものリストについては、国や他都市の動向を注視しながら検討して参ります。
12 嶋治委員	男女に関わらず、それぞれの人間がそれぞれ制約を抱えながら、より自分らしく働けるような環境に行政としても何ができるか、そのような観点で引き続き前向きにとらえられていただきたい。経済や女性の賃金の問題等を含め、各委員の意見を前向きに捉えて、引き続き継続して考えてほしい。	今年度も、働きやすい職場環境の整備や職場における男女共同参画を推進するため、一般事業主行動計画策定に向けた研修会を計画しています。 また、委員の皆様いただいた意見につきましては、今後の取組に反映させるため、前向きにとらえさせていただきます。